

米国 NY連銀管轄地区製造業の拡大ペースは鈍化傾向 (06年9月NY連銀製造業景気指数)

発表日：06年9月15日(金)

～設備投資見通しは一段と上昇～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : sei.ji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

NY連銀製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	出荷	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	販売価格	週平均就業時間
06/01	20.12	27.19	31.99	11.29	-12.33	1.37	2.70	46.58	27.40	11.71
06/02	21.02	27.14	32.22	5.99	-2.80	2.80	3.76	53.27	21.50	5.47
06/03	29.03	26.99	36.50	20.08	8.55	9.40	13.22	39.32	12.82	23.61
06/04	15.81	14.11	14.00	17.41	1.61	1.61	-2.90	37.90	14.52	5.44
06/05	12.94	16.22	17.08	9.70	1.63	7.32	2.84	43.09	14.63	9.42
06/06	29.01	25.81	30.32	5.12	-9.09	5.79	9.44	52.89	19.01	11.28
06/07	16.58	11.30	12.31	6.38	-12.84	4.59	4.02	50.46	16.51	9.54
06/08	11.04	19.76	15.41	6.45	-10.66	1.64	-6.63	44.26	14.75	14.38
06/09	13.84	13.96	20.56	12.47	-4.00	0.00	2.26	41.00	16.00	22.59

NY連銀製造業景気指数(6ヵ月先予測)の推移

	総合	新規受注	出荷	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	販売価格	週平均就業時間	設備投資
06/01	47.56	51.29	47.59	33.31	-4.11	-5.48	9.87	61.64	35.62	17.02	31.51
06/02	38.41	47.98	48.49	29.43	-2.80	10.28	8.66	57.01	27.10	17.25	41.12
06/03	38.08	31.33	36.72	22.98	-5.98	-1.71	-0.47	49.57	26.50	12.41	37.61
06/04	42.65	43.78	43.21	22.49	-4.84	6.45	1.96	50.00	25.81	13.94	37.90
06/05	30.17	36.21	32.68	22.53	-4.88	-0.81	4.73	59.35	32.52	4.55	32.52
06/06	33.66	34.14	28.84	13.09	-2.50	-1.67	4.28	62.50	35.83	4.63	20.00
06/07	44.99	44.14	40.81	19.17	-11.93	-1.83	8.60	60.55	36.70	9.04	22.02
06/08	35.80	38.77	37.40	20.76	-2.46	-9.02	1.55	54.92	34.43	9.35	26.23
06/09	35.20	41.27	41.78	19.34	-9.00	-9.00	7.14	52.00	37.00	10.55	36.00

前月比2.8ポイント上昇

06年9月のNY連銀製造業景気指数(NY連銀管轄地区の製造業の動向を示す)は+13.84と前月から2.8ポイント上昇し、市場予想の13.5を小幅上回った。新規受注、入荷遅延が低下したものの、出荷、雇用、在庫が前月から上昇した。ただし、同統計は月次での変動が大きいため3ヵ月移動平均でみると、総合、新規受注ともに小幅水準を切り下げており同地区製造業部門が緩やかなペースで鈍化していると判断される(下記グラフ参照)。

9月の同地区生産の拡大が見込まれる

個別にみると、新規受注指数が+13.96(同+19.76)と低下し、出荷が+20.56(前月+15.41)とプラス幅を拡大したものの、受注残が+2.26とプラスに転じ、在庫指数が▲4.00(同▲10.66)とマイナスを維持していることから、NY連銀管轄地区での生産拡大が示唆される。一方、雇用関連では雇用指数が+12.47(同+6.50)と小幅上昇しており9月の同地区製造業雇用は緩やかな拡大が続くとみられる。

企業収益面では、仕入れ価格が+41.00(前月+44.26)とプラス幅が縮小した。エネルギー、商品価格が下落した影響とみられる。一方、販売価格のプラス幅が上昇したため、交易条件は小幅改善した。それでも、引き続き企業部門ではコスト削減圧力の強い状態が持続している。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

**先行きに楽観的であり
予想される生産の
鈍化も小幅なものに
とどまるとみられる**

6ヵ月先予測では、総合指数は前月から低下したものの、高い水準を維持しており先行きに対して楽観的な見方が強い。新規受注の「増加を見込んでいる割合」、出荷の「増加を見込んでいる割合」、受注残の「増加を見込んでいる割合」が上昇していることから、生産の拡大ペース加速を示唆している。そのような中、「週平均就業時間の増加を見込んでいる割合」のプラス幅が上昇したうえに、「雇用者数の増加を見込んでいる割合」はほぼ変わらずとなったことから、製造業雇用が拡大する可能性がある。

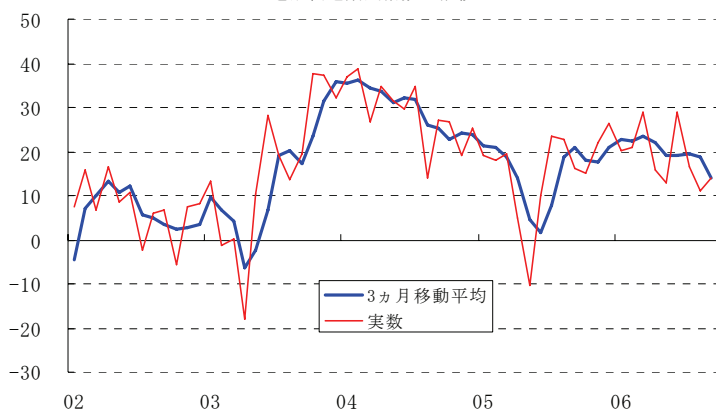
収益面では「仕入れ価格の上昇を見込んでいる割合」が低下し「販売価格の上昇を見込む割合」が上昇したことから先行き交易条件の小幅改善が予想されている。しかし、在庫は「在庫の増加を見込んでいる割合」のマイナス幅が拡大しており、今後も在庫の積み増しに慎重な姿勢を維持するとみられる。

以上のように、コスト削減圧力に対しては、雇用よりも在庫の削減で行うとみられ、持続的な成長が期待できる状態になっている。

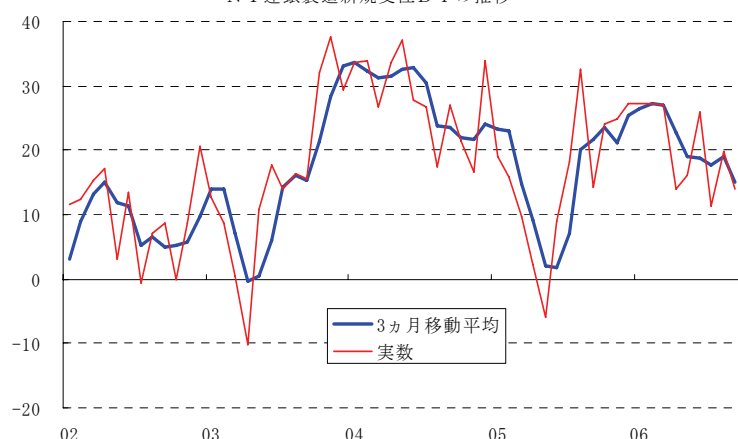
**情報化投資を含む
設備投資の堅調持
続を示唆**

設備投資計画は36.00と前月の26.23から上昇し高い水準となっていることから、2006年のNY連銀管轄地区製造業部門での設備投資は堅調さを維持する可能性が高い。ハイテク支出見通しは、高い水準を維持しており、今後も情報化投資が堅調さを維持すると予想される。

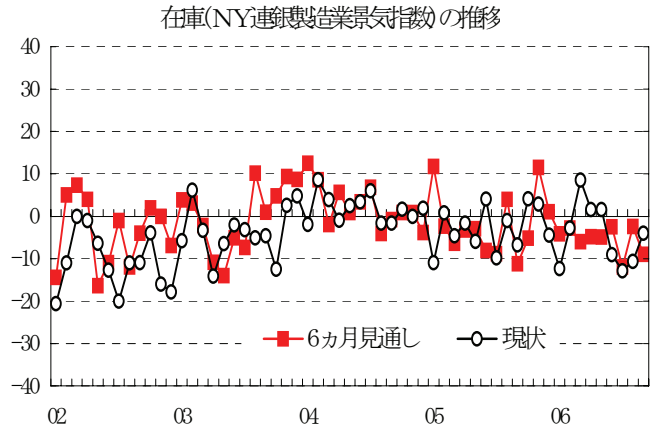
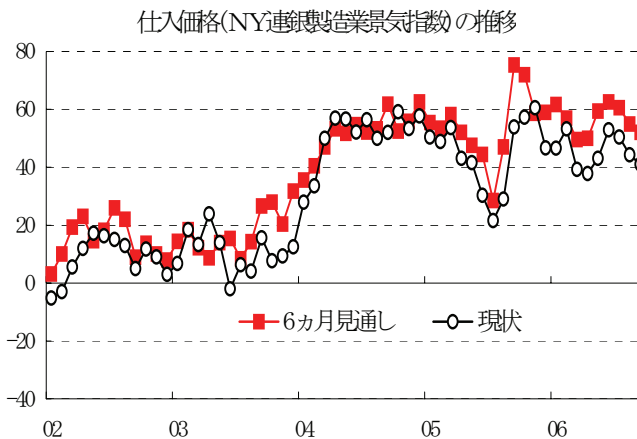
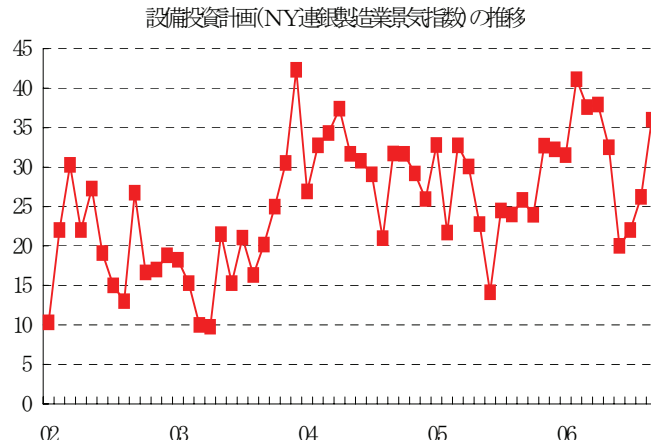
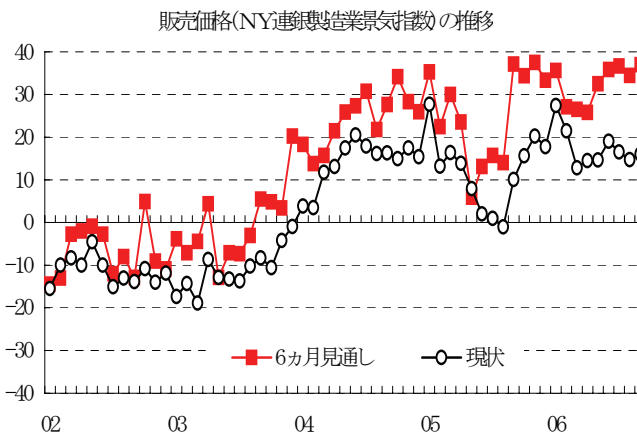
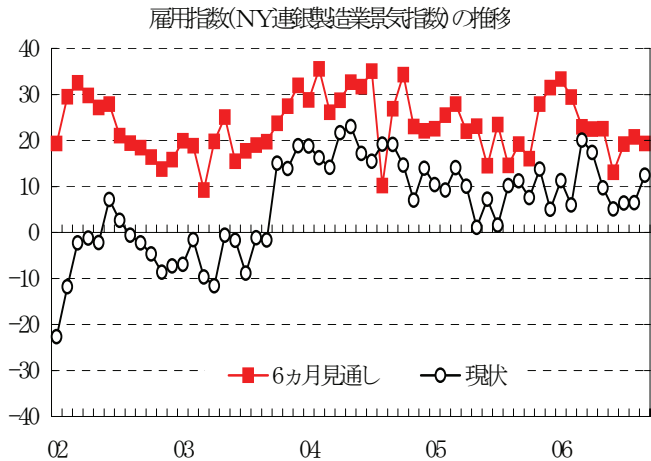
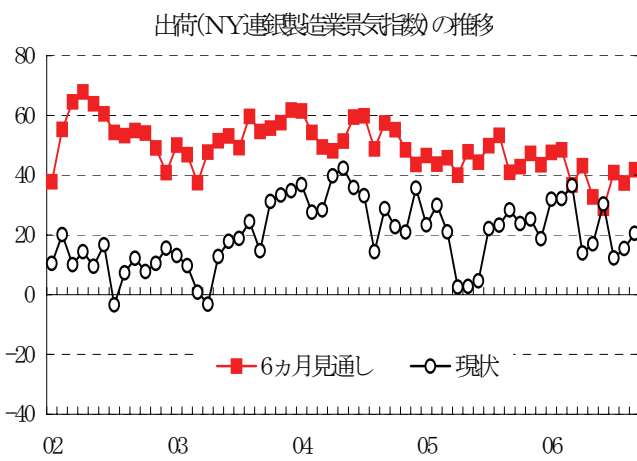
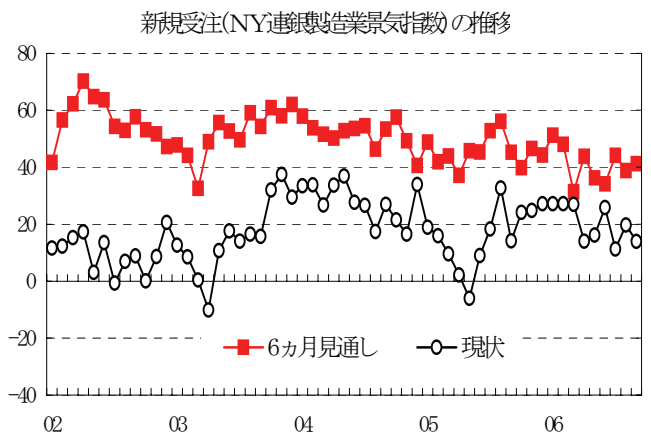
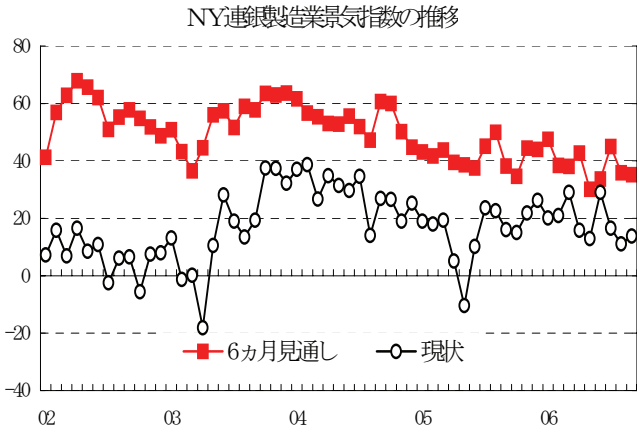
NY連銀製造景気指数の推移



NY連銀製造新規受注DIの推移



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であると限りません。